



小さな自然再生とは？ ～みんなで発案・協働する手づくりの自然再生～

「小さな自然再生」の定義

以下の3条件を満たす取組みを「小さな自然再生」と定義。

- ① 自己調達できる資金規模であること
- ② 多様な主体による参画と協働が可能であること
- ③ 修復と撤去が容易であること

さらに、自然環境の再生を通じて、地域づくりにも繋がります。



小さな自然再生を進める上での留意点

① 手続き（法的な規定）

河川、水路の管理者への許可申請等

② 人とのつながり（人的な調整）

関係者との調整、行政の協力等

③ 安全管理（現場での制約）

治水・景観への配慮、装備や緊急対応等



【主な留意点】

- 設置する‘モノ’が洪水の流れを邪魔しない？
- 洪水で流されたとしても大丈夫？
- 護岸や堤防などの施設に影響はない？
- 河川景観への配慮は十分？
- メンテナンスは誰がやるの？
- 作業で濁水や水質事故を起こさない？
- 漁協や地域住民との調整は大丈夫？
- 河川管理者に協力してもらえる？
- 行政が進める事業や施策を追い風にしている？
- 関係者の支持はきちんと得てる？
- 行政政策に位置づけられない？
- 何より現場作業での安全管理が一番大切 etc.

水辺の小さな自然再生事例集 (平成27年3月・JRRN発行)



- 編著：「小さな自然再生」事例集編集委員会
- 監修：玉井信行（東京大学名誉教授 / JRRN顧問）
- 「小さな自然再生」の専門家、行政担当者、若手技術者等で構成される有志による編集委員会を設立し、各委員の現場経験、専門知識、ネットワークを活用し全国の先進事例（13事例）や知見を整理。
- 編集委員会にデザイン・広報の専門家も参画し、誰もが手に取りやすく視覚的にわかりやすい書籍となるよう工夫。
- 更なる推進に向けた座談会や対談の記録も掲載。

事例集で紹介した13事例

No.	河川名	適用技術
1	北海道・駒生川	石を詰めたネットと丸太による簡易魚道
2	神奈川・黒須田川	ネットと玉石による洲とよどみ形成（パーブ工）
3	愛知・五条川	植生ロールによる洲と岸辺の造成
4	岐阜・天神川	根固めブロック再配置による魚道形成
5	岐阜・桂川	ネットと栗石による寄り洲と淵形成（パーブ工）
6	滋賀・天野川	組立式の鋼製魚道
7	滋賀・喜撰川	木箱による簡易魚道
8	滋賀・高時川	根固めブロックによる魚の避難場所造成
9	兵庫・住吉川	粗石の小プール造成による簡易魚道
10	兵庫・安室川	川を耕す人カ川底攪乱による生息場造成
11	山口・島田川	石組みによる簡易魚道
12	福岡・室見川	人カ川底攪乱によるシラウオ産卵床造成
13	福岡・上西郷川	間伐材や捨石による水制

H27年度 水辺の小さな自然再生普及促進プロジェクト ～仲間を増やし、担い手を育成する～

① 現地研修会 (第1回：愛知県豊田市、第2回：滋賀県長浜市)

第1回現地研修会

- 開催日：平成27年9月8日
- 場所：愛知県豊田市・岩本川
- 共催：豊田市矢作川研究所
- 参加者：37名



報告書発行(10月)

第2回現地研修会 ～川の水が減った時の魚の逃げ場所づくり～



①座学研修

②現地視察

③ワークショップ

- 開催日：平成27年11月2日
- 場所：滋賀県長浜市・高時川
- 共催：滋賀県
- 参加者：45名



滋賀県が10日後には研修成果を活かし試験施工

報告書発行(12月)

⇒平成28年度も他地域での現地研修会（複数回）を企画しています。

② 講演会 (小さな自然再生が中小河川を救う！ IV)



- 平成27年9月開催@福島・郡山
- 参加者80名
- 先進的3事例講演+全体討議



講演録発行(H28年2月)

③ ホームページ (2月下旬開設予定)

【基本構成】

- 小さな自然再生とは？
- 小さな自然再生の進め方
- 事例紹介
- ブログ
- 行事案内 & 報告
- 参考資料
- 問合せ（相談窓口）



<http://www.collabo-river.jp/>